

Q：幼児期の子どもは、外で、何人ぐらいで遊ぶのが良いのか教えてください。理由は？

A：幼児期の外あそびでは、3～6 人程度の小集団が良いでしょう。

理由は、

1. 社会性の発達にちょうど良い人数だから

幼児期（3～6 歳）は、他者と関わる力（協調性・順番を待つ・感情のやり取り）が急速に伸びる時期です。3～6 人くらいだと、一人ひとりの顔が見え、会話や意思疎通がしやすく、仲間意識も育ちやすいからです。

2. 役割分担とゲーム成立が可能だから

かけっこ、鬼ごっこ、ままごと、砂場あそび等で、役割を決めて遊べる人数として適しているからです。2 人だと単調になりやすく、7～8 人以上だと一部の子が参加しにくくなる場合があります。

3. 安全面での配慮がしやすいから

大人が見守りやすく、危険行動の予防や仲裁もスムーズにできる人数サイズだからです。小集団であれば、衝突やけんかの発生時も対応しやすいからです。

4. 適度な刺激と安心感のバランスが得られるから

少人数すぎると、刺激が不足し、多人数すぎると、不安や孤立が生じやすいです。3～6 人なら、あそびが広がりつつ、安心できる関係も維持できるからです。